

授業科目名	生徒指導・進路指導	教員名	高橋 高人	免許・資格との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	
授業形態	講義	担当形態	単独		保育士	
科目番号	SEI201	配当年次	2年後期	卒業要件	こども音楽療育士	
単位数	2単位				小幼コース	必修
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（小学校）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
一般目標	<p>「いじめ」や不登校、メンタルヘルスの不調などさまざまな諸問題を抱える学校教育の現状を理解し、児童生徒理解や望ましい人間関係づくりなど生徒指導の機能を学校生活のあらゆる場や機会の中に生かす方策を習得することができる。</p> <p>キャリア教育が提唱された背景やキャリア教育の定義・目標、キャリア教育を推進するための体制整備や全体計画作成、小学校におけるキャリア教育推進のあり方などについて理解するとともに、具体的な取組み事例を通して、実践的な態度を身に付けることができる。</p> <p>(1) 生徒指導の意義と原理 生徒指導の意義や原理を理解する。</p> <p>(2) 児童及び生徒全体への指導 すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する。</p> <p>(3) 個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導 児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。</p>					
到達目標	<p>(1) 生徒指導の意義と原理</p> <p>1) 本講では、生徒指導の基礎となる個々の児童生徒の理解と指導に関する基礎的な知識の習得を目指す。</p> <p>2) 生徒指導に関する理論とその活用方法を理解し、学校現場で実践できることを目標とする。</p> <p>3) 生徒指導上、取り上げられる問題（例えば、いじめ、不登校、暴力行為、キャリア教育）に対する最新データをふまえた現状を理解し、その対応法に関する知識を獲得することが目標とする。</p> <p>(2) 児童及び生徒全体への指導</p> <p>1) 学級担任、教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。</p> <p>2) 基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。</p> <p>3) 児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。</p> <p>(3) 個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導</p> <p>1) 校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。 ※高等学校教諭においては停学及び退学を含む。</p> <p>2) 暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。</p> <p>3) インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。</p>					
授業の概要	<p>生徒指導の定義、基本的な考え方、基本的な指導方法、キャリア教育の基本について学ぶ。また、文部科学省の報告書から生徒指導上の諸問題である暴力行為、いじめ、不登校を取り上げ、その現状および対応方法、そして予防的取り組みについて学ぶ。</p> <p>生徒指導は、学校生活のあらゆる場や機会を通して児童生徒の健全な成長を促し、自己指導能力</p>					

	<p>の育成を目指す営みである。進路指導は、児童生徒の社会的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる営みである。価値観の多様化、急激な社会の変化、高度な技術革新の中で、生徒指導上の各種の問題に対する解決の方策や、小学校からの体系的なキャリア発達を視野に入れたキャリア教育のあり方を考察する。授業形態は講義とする。</p> <p>アクティブラーニングとして、振り返り、レポート等を取り入れる。</p>
<p>ディプロマ・ポリシーとの関係</p>	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>
<p>授 業 計 画</p>	<p>第1回：「生徒指導の意義と原理」に関する学習（目標(1)-1), 4), (2)-1))</p> <p>(1) 生徒指導の意義と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己指導能力の育成という生徒指導の積極的な意義を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う生徒指導の在り方</li> <li>・生徒指導の基盤となる児童生徒理解の深化</li> </ul> <p>(2) 望ましい人間関係づくりと集団指導・個別指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい人間関係を主体的に形成していこうとする人間関係づくりとこれを基盤にした学級や学校の教育的環境の形成</li> </ul> <p>(3) 学校全体として組織的、計画的に行う生徒指導</p> <p>第2回：「教育課程における生徒指導の位置付け及び個別・集団指導の方法原理」に関する学習（目標(1)-2), 3), 4), (2)-1))</p> <p>(1) 教育課程のすべての領域において機能する生徒指導、及び休み時間や放課後の個別指導など教育課程外の教育活動において機能する生徒指導</p> <p>(2) 教育課程の共通性と生徒指導の個別性</p> <p>(3) ①児童生徒に自己存在感を与えること、②共感的な人間関係を育成すること、③自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助することの三つの視点に留意して行う学習指導</p> <p>(4) 道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動における生徒指導の進め方</p> <p>第3回：「児童生徒の心理と児童生徒理解」に関する学習（目標(1)-3), (2)-2))</p> <p>(1) 生徒指導における児童生徒理解の重要性及びその対象例</p> <p>(2) 児童期の心理的な発達の特徴、発達障害の理解</p> <p>(3) 青年期の心理的な発達の特徴</p> <p>(4) 児童生徒理解の資料とその収集</p> <p>第4回：「学校における生徒指導体制の考え方と指導計画」に関する学習（目標(1)-3), (2)-2))</p> <p>(1) 学校において生徒指導が効果的に機能する組織及び校務分掌上の位置づけ</p> <p>(2) 生徒指導主事の役割と生徒指導主事に求められる資質・能力</p> <p>(3) 生徒指導のための研修及び全校指導体制の確立</p> <p>第5回：「教育相談の体制づくりと進め方」に関する学習（目標(1)-4), (3)-2))</p> <p>(1) 学校における教育相談の特質及び教育相談体制の構築</p> <p>(2) 学級担任が行う教育相談の進め方、教育相談担当教員が行う教育相談の進め方</p> <p>(3) スクールカウンセラー、専門機関等との連携</p> <p>第6回：生徒指導の実際Ⅰ「生徒指導の進め方」に関する学習（目標(1)-4), (3)-2))</p> <p>(1) 豊かな心をはぐくみ問題の未然防止を図る児童生徒全体への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的対応と関係機関等との連携</li> </ul> <p>(2) 生徒指導における教職員の役割と研修の必要性、守秘義務と説明責任</p> <p>(3) 学級担任の指導の実際 ～学級経営と生徒指導の進め方～</p> <p>第7回：生徒指導の実際Ⅱ「個別の課題を抱える児童生徒への指導」に関する学習（目標(3)-2), 3))</p> <p>(1) 問題行動の早期発見と効果的な指導</p> <p>(2) 発達に関する課題と対応</p> <p>(3) 喫煙、飲酒、薬物乱用、暴力行為の現状とその防止に関する指導</p> <p>(4) いじめ問題に対する理解とその対応 ※「いじめ防止対策推進法」の成立</p>

	<p>(5) インターネット・携帯電話等に係る問題</p> <p>(6) 命の教育と自殺の防止、虐待防止への対応</p> <p>(7) 不登校の考え方とその対応</p> <p>第8回：「キャリア教育の必要性と意義」に関する学習（目標(3)-2), (3)）</p> <p>(1) キャリア教育提唱の背景及びキャリア教育の定義について</p> <p>(2) キャリア教育の目標及びキャリア教育に期待されることについて</p> <p>(3) キャリア教育の意義、中学校におけるキャリア教育について</p> <p>第9回：「キャリア教育推進のための体制整備と全体計画・年間計画等」に関する学習（目標(1)-3), (3)-2)）</p> <p>(1) 校内組織の整備及び全体計画の作成</p> <p>(2) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動と年間指導計画</p> <p>第10回：「家庭・地域・異校種間との連携」に関する学習（目標(1)-3), (3)-2)）</p> <p>(1) キャリア教育に係る家庭・保護者との連携及び地域や企業等との連携</p> <p>(2) 学校間（異校種間）連携</p> <p>第11回：「キャリア教育の評価と改善」に関する学習（目標(1)-4), (3)-1)）</p> <p>(1) キャリア教育における児童の学習状況評価</p> <p>(2) 教育活動の評価と改善</p> <p>(3) キャリア教育における指導計画の評価と改善</p> <p>第12回：「小学校の教育課程とのかかわりにおけるキャリア教育」に関する学習（目標(1)-4), (3)-1)）</p> <p>(1) 小学校におけるキャリア発達</p> <p>(2) 学力向上にキャリア教育の視点を生かす取組</p> <p>(3) 道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動にキャリア教育の視点を生かす取組</p> <p>第13回：「各学年段階におけるキャリア教育Ⅰ～低学年・中学年の実践のポイント～」に関する学習（目標(1)-2), (2)-3)）</p> <p>(1) 小学校生活に適応するために（低学年）</p> <p>(2) 身の回りの事象への関心を高めるために（低学年）</p> <p>(3) 自分の好きなことを見つけて、のびのびと活動するために（低学年）</p> <p>(4) 友達と協力して活動する中でかかわりを深めるために（中学年）</p> <p>(5) 自分の持ち味を発揮し役割を自覚するために（中学年）</p> <p>第14回：「各学年段階におけるキャリア教育Ⅱ～高学年の実践のポイント～」に関する学習（目標(1)-2), (2)-3)）</p> <p>(1) 自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得するために</p> <p>(2) 集団の中で自己を生かすために</p> <p>(3) 社会と自己とのかかわりから、自らの夢や希望をふくらませるために</p> <p>第15回：「中学校や高等学校におけるキャリア教育の推進」に関する学習のために（目標(1)-2), (3)-3)）</p> <p>(1) 中学校におけるキャリア発達</p> <p>(2) 中学校・高等学校におけるキャリア教育の全体像</p> <p>(3) 小・中連携を生かし、学びのつながりを意識したキャリア教育</p> <p>期末試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>期末試験、各講義において実施する課題によって評価する。所定の時間数出席しなければ受験資格は得られない。出席不足の場合は改めて受講しなければならない。</p>
<p>時間外の学習 について</p>	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。） 講義終了後、取り上げたテーマや問題について自分が興味を持ったこと、重要だと感じたこと等について、自分なりに情報収集して理解を促進すること。</p>
<p>テキスト</p>	<p>『生徒指導提要』（最新版）（文部科学省刊）</p>

	『小学校キャリア教育の手引き』（文部科学省刊）
参考書・ 参考資料等	『小学校学習指導要領（最新版）解説 総則編』
担当者からの メッセージ	特になし
オフィスアワー	授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。）